

に強く、車両幅を拓幅したのが特徴。八百七十億円を投じて、八十三編成、八百三十両の現行車両を二〇〇九年末をメドに新型車両に順次入れ替える。

高層ビルや隣接者に西風を招き、車両幅を拓幅したユニバーサルデザインを採用するほか、車内ドア上部には十七彩液晶画面を二基設置。全自動空気清浄装置も設ける。

年明けには東海道線にも試験導入する方針だ。

京浜東北線の現行車両「209系」は九三年から本格採用されている

新型車両は電気機器や保安装置などを二重系化する。片方の機器が故障しても、もう一方の機器

横浜のVB

映像補正装置を開発

逆光でも暗くならない補正技術。画像処理技術のベンチャー企業、フジテレビと共同開発したと発表し、販売価格は百九十八万円。初年度五百台の販売を見込む。

逆光撮影しやすく、フジテレビと共同でデジタルハイビジョン放送映像向け逆光補正装置を開発したと発表した。販売価格は百九十八万円。初年度五百台の販売を見込む。

暗部から光量の多い場所まで幅広く認識できる

フジテレビと共同でデジタルハイビジョン放送映像向け逆光補正装置を開発したと発表し、販売価格は百九十八万円。初年度五百台の販売を見込む。

暗部から光量の多い場所まで幅広く認識できる

クセル単位で輝度レベルを最適化する。従来の補正方法では逆光撮影では人物の顔が暗くなった、背景の色が薄くなった、たり、背景の色が暗くなった、たりする問題があった。これらを解決する技術として、代理店の加賀電子(東京・文京)を通じて国内、米国、東南アジアの

放送局などに売り込む。また輝度の最適化やコンテンツの維持を高速で実施、生放送にも対応可能という。ストアネットが監視カメラの補正装置開発で培った技術を用いた。